

様式第1（第15条関係）

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第1回 新庁舎建設事業者選定委員会
開催日時	平成30年12月19日（水）午後2時から午後4時
開催場所	和泉市府中町二丁目7番5号 和泉市コミュニティセンター1階大集会室
出席者	別紙「事業者選定委員名簿」のとおり
会議の議題	審議 （1）プロポーサル募集要項等について （2）評価項目・採点基準について
会議の要旨	別紙「審議内容」のとおり
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項（会議の公開・非公開、傍聴人数等）	当委員会は、和泉市審議会等の設置及び運営に関する規則第10条第1項第3号に基づき、非公開とする。 （事業者選定過程の公正性を確保する必要があるため）

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 委嘱状の交付
4. 出席者の紹介
5. 委員長、副委員長の選出
6. 会議の進め方とスケジュールについて
7. 審議

①プロポーサル募集要項について

委員 上限提案価格には除却を含んでいるか。

事務局 募集要項3ページの(イ)施工業務に一連の工事を挙げており、除却工事もこれに含まれる。

委員 ④の最低制限価格で価格評点の評価の満点を上限提案価格の90%とするとあるが、上限提案価格である59億2,870万円の90%以下にしたところで100点(満点)を超えないということか。

事務局 配点は40点であり、90%以下にしても40点である。

委員 応募側からすると、90%以下の提案をしても点数に影響はしないということか。

事務局 そのとおり。その場合は事業者としては90%で価格を抑えつつ、基本設計を上回る提案にお金をかけて、他で得点をとりにいくことが想定される。

委員 90%で100点(満点)とした理由は。

事務局 市の一般的な競争入札における最低制限価格は90%に設定しておりこれを参考にしている

委員 市内業者の活用として資材の購入があるが、⑥の参加条件で市内業者をゼネコンの構成員にして工事を分担するということは、カウントに入るのか。

事務局 JVでの事業者の参加については、その出資金額が活用金額ということになる。

委員 例えば総額60億で、市内業者が10%JVの構成員だとすると6億ということか。

事務局 そのとおり。

委員 ⑦VE提案の中であらかじめ容認できないVE提案とあるが、主な理由4番目の「細かすぎるVE提案」のことを指すのか。

事務局 (資料1①-2 VE提案要領 2ページ「採択できないVE提案」を説明)

委員 VE提案で「性能を維持しながら価格を抑える工法の提案」とあるが、これに限るのか、例えば価格は一緒であるが性能が上がる提案というのはVE提案に含まれるか。

事務局 一般的には価格を維持しながら性能が上がる提案に関してもVE提案と認めている。

委員 構造設計は終了しているのか。

事務局 構造設計についても、基本設計レベルでの設計は終了している。

委員 募集要項の要点⑥について、梓設計事務所様以外の設計事務所を採用することはあるという認識でよいか。

事務局 梓設計事務所様は参加できないものであり、市の立場で今後実施設計の監修をしていただくことになる。

- 委員 市町村役場機能緊急保全事業について、わかり易く説明いただきたい。
- 事務局 (市町村役場機能緊急保全事業について説明)
- 委員 23ページの【対象事業】にアイウエオとあるが、この全てで工事の100%ということか。残っているものがあるのか。
- 事務局 今回は少なくともアの新庁舎整備工事は完成いただきたいが、新庁舎整備工事が終わったあと既存庁舎から引越しを行い初めて既存庁舎の除却ができ、その後駐車場整備ができることになるため、ウ、エについては完成することが難しいと考えている。ただし、イの屋外デッキ工事はゼネコンのノウハウで3月に間に合わせられる可能性もあるため、提案を求めたいところである。
- 委員 ローリング計画についての説明をお願いしたい。
- 事務局 (ローリング計画の概要(4、5号館解体→仮設道路築造→新庁舎建設→引越し→既存庁舎除却→道路整備→外構工事)について説明)
- 委員 この計画に対する提案やその評価をする資料が提出されるのか。
- 事務局 そのとおり。後ほど説明する評価要領でも、ローリング計画における安全対策や全体工程計画などの提案をいただく。
- 委員 このローリング計画以上のものが提案されたらどうするか。
- 事務局 これ以上の工期短縮の提案の可能性はある。もちろん安全性が確保されながら工期短縮がされるのであれば高く評価いただきたい。
- 委員 このローリング計画以上の、工期短縮が図られると期待できれば採用するということですね。
- 事務局 DB業者に発注する工事部分と市内業者向けに発注する工事部分があるため、それを維持しつつ短縮する提案を求めている。

②評価項目・採点基準について

- 委員 (他委員に対して)技術評価の配点60点のところ項目が①から⑦まであり、当選定委員会で評価するのは①で、②から⑥は事務局の評価となっており、少ないと感じるがそれでもいい。また、評価ランクに対する意見が何かあれば。
- 事務局 3ページの評価手順を見ると事務局の範疇が多いと感じられるが、7ページ別表に示している採点区分を見ると、機械的に判断する項目のみが事務局でそれ以外はすべて選定委員会での評価をお願いしている。
- 委員 市内建設業者の活用について、発注の仕方のイメージは。
- 事務局 一次下請けでの発注が理想的だが、恐らく二次下請けで、例えば土工事のなかの掘削を担当したり、運送を担当したりなど、それぞれ細分化されていくと思われる。(評価別表3で)市内建設業者の活用数を15社、10社、5社としているが、やはりどれくらい幅広く市内業者を活用していただけるかというところで会社数も競っていただきたい。この事業者数については二次、三次の下請けもカウント可能としている。ただし二次下請けを請けた市内業者がさらに三次下請けで市内業者に発注することは加算しないこととしている。
- 委員 プロポーサルの段階でそこまで決められるのか。

- 事務局 DBに参加しようという事業者は、工事に参加してもらえるかどうか市内業者に声をかけてまわるということが想定される。
- 委員 二次、三次まで市内業者を挙げるというのは大変では。15社決めるメリットはどこにあるか。
- 事務局 会社数だけであって具体的にどこの市内業者を使うのか会社名を挙げるところまではうたっていない。ただし目標が達成できなければ違約金の対象となるため、事業者としては担保をとるためできるだけ多くの市内業者に声をかけていただくことになる。また契約金額〇〇万円以上など、金額を設定していないため、15社が高いハードルではないと考えている。
- 委員 15社になるとかなり細分化されるので、コントロールが大変だという疑念がある。
- 事務局 建設工事は非常に多岐にわたる業種があるので、それらの中で15社を使うのはそれほど難しいことではないと考えている。ゼネコン等のDB事業者が一次下請けに発注する際に、市内業者を使うことを条件にし、コントロールされていくものと思われる。
- 委員 プレゼンテーションの時間は。
- 事務局 プレゼンテーションは20分程度で、その後質疑応答の時間を設けている。提案についてA、B、Cでランク付けしていただくが、無理に割り振る必要はなく全社が同じランクになっても仕方がないものである。
- 委員 最後は合議で評価を決めるのか。
- 事務局 委員6人がそれぞれの観点で採点していただくので、同点にはなかなかならないと考えている。
- 委員 (1)技術評価⑤の市内の建設業者以外の業種の活用数を採点するという趣旨は。
- 事務局 市庁舎の建設であるので、建設業にかかわらず例えばクリーニング業や弁当屋さん、文房具屋さんなど様々な業種の市内業者も活用していただきたいという趣旨である。

8. その他

(終了)